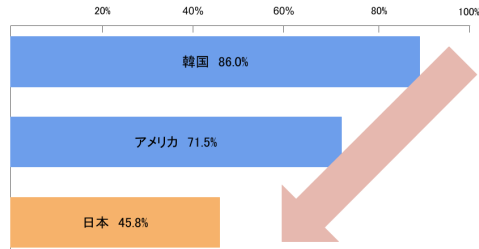


2020年度_事業計画書

0.課題

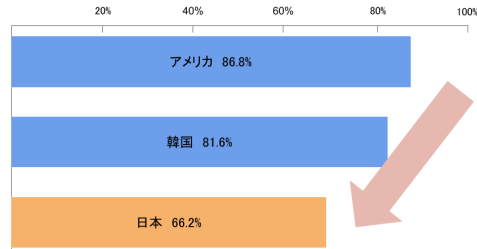
2.自分自身に満足している。



※諸外国に比べて自分自身に満足している若者が少ない。

引用元: 平成26年版子ども・若者白書

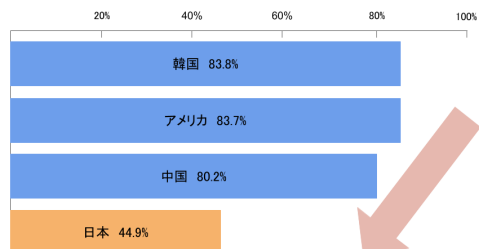
6.40歳になった時のイメージ(幸せになっている。)



※諸外国に比べて40歳になった時の幸せイメージを持っている若者が少ない。

引用元: 平成26年版子ども・若者白書

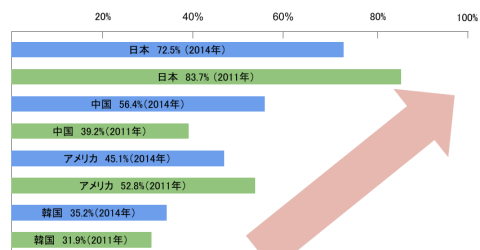
9.わたしは価値のある人間だと思う



※諸外国に比べて価値のある人間だと思っている若者が少ない。

引用元: 平成30年 高校生の生活と意識に関する調査報告書【概要】

7.8.自分はダメな人間だと思うことがある。



※諸外国に比べて自分はダメな人間だと思う若者が多い。

引用元: 平成27年 高校生の生活と意識に関する調査報告書【概要】

1.目的

災害や少子化、及び過疎化などの影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

2.ビジョン

「自分の人生を1からデザインする楽しさであふれる社会」の実現

3.ミッション

「本音で生きられる若者を増やす」

4.目標

1. 大学生を対象にしたイベント企画、コーディネート
2. 大学生を対象にしたキャリア支援
3. 活動に参加した小学生から高校生を対象に学習/キャリア支援

4. 賛助会員、マンスリーサポーター制度を整備
5. スタッフ、理事、監事、顧問のコミットで組織体制を強化

5.組織基盤強化

1.事務局を組織

社会人と大学生が一体となった事務局の整備と強化を引き続き行う。また、OBOGの協力を得ながら各種事業を遂行できるよう努める。

2.賛助会員制度の整備

2020年度から賛助会員制度を整備し2021年度3月までに30名を目指す。またビジョン達成に向けた法人パートナーを募集し、連携/協働を深める。

3.ボランティア増加

ボランティア登録は現在 248名（2020年5月14日時点/昨年度375名）。ボランティアが参加可能な事業イベントを充実させる。また、WEBやSNS等を活用した新規ボランティアを2021年度3月までに450名を目指す。

4.マンスリーサポーター制度の整備

マンスリーサポーター制度を整備して、目的や事業に共感したサポーターを集め、WEBツールを活用してオンライングループを運営する。

5.10周年記念冊子の発行

僕らの夏休みProject10周年を記念して、10年の歩みと今後についてまとめた冊子を作成する。

2.事業計画

1.ロールモデル提供事業

(1)YouTube活用事業「ことばのじかん」

目的：家庭や学校では教えてもらえない生き方、お金等の話をYouTubeを使って発信し、住んでいる場所に関係なく子ども若者の成長の一助となることを目指す。

テーマ：〇〇×教育 〇〇×生き方 〇〇×お金

対象者：全国の高校生、大学生

コンセプト：普段の生活では出会えない人や話との出会い

頻度：月1,2本から始め1年ごとに週1本、週1本以上と増やしていく。

2.キャリア支援事業

(1)新入社員と大学生の交流

目的：新入社員と大学生の交流を通して生きる手段の1つとする。

日程：2020年4月～2021年2月（2-3回程度）

内容：新入社員と大学生のコラボイベントの企画、実践

対象：新入社員、ボランティア大学生

目標：①ボランティア大学生の就職先をサポートする。

②ボランティア大学生の企画実践の場として継続的に実施する。

(2)JPX起業体験プログラム実施

背景：東京証券取引所が中学生や高校生を対象に、模擬店ビジネスを行う株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする起業教育イベント（東京証券取引所から引用）

目的：公立、私立中高生を対象に起業体験プログラムを提供する。

教員を目指す大学生や社会科教員、若手社会人を対象にマナーリテラシーの向上を目指す。

内容：大学生向けのプログラム実践

社会科教員向けにプログラム実践

高校生向け起業体験プログラム

目標：①地方自治体と連携したプログラム実践

②中高生向けのプログラム実践

③アンケートにより「働くこと」「自分の将来」に対する肯定感アップを検証

(3)オンライン家庭教師

背景：受益者との距離が遠く単発のイベントのみの関係になってしまっていた。

目的：受益者と大学生ボランティアが距離に関係なく交流できる仕組みを作る。

収益：受益者負担

内容：勉強サポート、進学相談サポート

目標：①365日交流できる場

②勉強をサポートして自己肯定感の向上

③将来に夢や希望を持てるように進学、就職をサポート

(4)プログラミング教育

3.評価軸の作成事業

4.目的達成に必要なセミナー事業

5.イベントの企画、コーディネート事業

(1)僕らの夏休みProject

目的：災害や少子高齢化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

目標：支部数（35）、開催地域（6地域）、保護者の巻き込み（150人）

日程：2020年8月6日（木）～2020年8月8日（土）

地域：6地域（宮古市、岩泉町、山田町、大槌町、釜石市、陸前高田市）

小学校：32校（目標）

児童数：867名（目標）

大学生：418名（目標）

後援予定：岩手県教育委員会、岩手県小学校校長会、岩手県PTA連合会、

宮古市教育委員会、山田町教育委員会、岩泉町教育委員会、釜石市教育委員会、
大槌町、陸前高田市教育委員会

収入：会費（ボランティア参加費）1440万円

寄付（街頭募金/クラウドファンディング）302万円

事業収入（グッズ販売/写真販売）16万円

合計：1758万円

(2)僕らの夏祭り

目的：少子高齢化や災害における人口流出等で希薄化してしまった地域の再生と子どもを地域で育てる出会いの場として各地域ごとに祭りを実施する。継続的な活動にするため現地実行委員会を組織し活動する。流出している人口層の大学生が関わることで関係人口の拡大を目指す。

日程：2020年8月10日or11日

場所：田老 鉾ヶ崎 腹帯 赤前 大槌町

参加人数：約3,000人

協力：一般社団法人LIGHT UP NIPPON

僕らの夏祭りin腹帯実行委員会 僕らの夏祭りin赤前実行委員会

協賛：東北ヒロセ電機（株）、陸中建設（株）、JA新岩手農業協同組合、（株）中村電子

（有）メンテナンス宮古、マルシン建設（株）長沢産業（株）、（有）かくりき商店

（株）アルティメットプランニング、ナイトスタジオEDEN、（株）セイア、（株）川秀

（有）マツモト機材工業、花坂印刷工業（株）、（有）甲斐谷建設企画、伊藤建設（株）

小鯖建築、水道工事KOSABA、STARS、三浦印章、小槌の猛者、大坂建設（株）

bithair、ファミリーサロン ユタカ、（有）クボタタクシー、館下輪店、

まつげエクス、Sunflower、（名）津軽石タクシー、木澤医院、昆デジタルクリニック、

（有）クレイン、ひろや食堂、沢田セメント工業所、ダイニングカフェ&バーファンタジスタ

長洞理容店、マイショップヤマザキ、たらふく（赤前会場）

宮古箱石道路安全協議会（腹帯会場）

後援：宮古市、宮古市教育委員会、岩手県沿岸広域振興局、宮古市教育事務所、

目標：①小学生と地元住民が関わるきっかけとなる仕掛けを作る。

②中高生を現地実行委員会のユースチームとして組織する。

③卒業生（小学生/大学生）が再会できる場所にする。

(3)僕らの出張ミライ会議

目的：高校生の進路選択における経済的負担（オープンキャンパス等）を軽減し、多彩な選択肢から心が動く選択肢を高校生自身が見つける。リアルな「先輩の声」で不安を解消することで高校生の有意義な進路選択の一助となることを目的とする。

日時：2020年3月

場所：イーストピアみやこ（岩手県宮古市宮町1丁目1-30）

対象：宮古市内の高校生

宮古高校、宮古北高校、宮古商業高校、宮古工業高校、宮古水産高校

費用：無料

後援：宮古市教育委員会

目標：①単発的イベントにならないようにオンラインツールを活用しながら継続的にサポートする。

②地元の挑戦している若者を巻き込み身近な憧れとの出会いを創出する。

③ぶつとび修学旅行と連動させることで遠い憧れから日常までサポートする。

6.その他前各号の目的に資するために必要な事業